

社会教育委員会 会議概要

1	審議会名	第8期第5回社会教育委員会
2	日 時	令和4年6月20日（月） 午後1時30分から午後2時55分まで
3	会 場	本庁舎2階 202・203 会議室
4	出席者	竹花のり子委員 小山ひとみ委員 滝澤共子委員 西澤むめ子委員 上野勝裕委員 小平千文委員 高田正哉委員 宮下俊哉委員 山崎順子委員
5	市側出席者	上原生涯学習・文化財課長 山田生涯学習係長 宮崎生涯学習係主任 古平地域学校支援員
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和4年7月3日

協 議 事 項 等

1 開 会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 教育委員会への提言の提出について

(代 表) 前回の会議において、提言内容を検証してから次の提言に繋げていく方法が良いとの意見を踏まえ、令和2年度の提言内容について検証し、報告いただくことで進めている。

(事務局) 今後の方向性と提言が何に基づいて行われるものなのかをまず確認したい。

・社会教育法について説明

これまでの会議における実施報告の中で、提言の内容を捉えた説明はしてきていない。よって、事業内容が提言内容に基づいて行われているか繋がりが見えにくい。今後は、説明において配慮したい。今回の提言で、検証を踏まえて提言するというのであれば事務局で対応していく。

(委 員) 社会教育委員会のような立場で、教育委員会に意見書や提言書を出す機関は他にあるか。

(事務局) 法的にできる組織はない。

(委 員) 公民館運営審議会や図書館運営委員会は館長の諮問に応じて答申する形式である。

(事務局) 今後の進め方として、新たな内容を提言していくことがこれまでのやり方だったが、提言した内容の現状を知り、検証の結果、何か不足するものや進行途中のもので後押しするように再度提出していくという出し方にしていくのかを協議いただきたい。

(代 表) まず、提言を出していくことについて皆さんよろしいか。

(各委員) 異議なし。

(代 表) 提言は出していくということで確認した。検証結果を受けた内容とするか、新たな内容を含めて提言していくのか意見を出していただきたい。

(委 員) 検証作業はどのように行うのか。

(事務局) 前回提出した提言を検証することを考えている。提言に対しての取組は、それぞれ事務局や担当課で行っており、取組の状況を報告していきたい。教育の分野は一年や二年の短期で取組の成果や結果を出すのは難しい。できている部分、できていない部分も出てくるが、現状を知っていただくため、取組状況を説明することとなる。

(委 員) 事務局で今日説明するのか。

(事務局) 委員の意見を踏まえて、本日の会議で方向性を決めた場合には、次回会議で検証の場を持ちながら、提言に向けた話し合いを進めていただきたい。

(委 員) 提言内容が漠然としすぎていたところが、検証することで考えがまとまり、振り返る良い機会になる。

(委 員) 委員が出した提言を、教育委員会がどのように受け止め、どのように生かされているか。今、提言を出していく上で知っておくことも大事なことです。

(委 員) 今、検証するかどうか話題になっているが、提言があっても、学校現場では様々なことがしっくりと位置付きはじめています。提言に沿って学校というものが変わってきており、地域連携自体も非常に進んでいると感じています。検証として、硬い文章が出てくるよりは、変わってきていることや流れがある程度見えるような情報があればよいのではないかと。

(委員) 検証という言葉はきついかもしれないが、具体的に現場でどうなっているのか追跡調査が行われないと提言の意味がない。反映されていることいないことを踏まえ、これは大切な問題であるのなら次年度も提言していく。より具体的に踏み込んで提言する形になって、初めて少しずつ前進するもの。委員として提言したことが一つの成果として生まれればよいと思う。

(代表) やはり現状が知りたい。もし色々な事情の中でできなかったことがあるとしても、一度どのように考え、現場で反映されたのか知ることができれば提言を出した甲斐もある。

(委員) 提言内容が色んな人に見えてきていないと思う。提言にあたり、重点目標も少し意識していくとよいと思う。個々の活動や上田市の非常に良い取組みについて、宣伝・広報していきたい部分を絞って提言を章ごとに分けていくような形で書いていくのもよいかと思う。広く知ってもらうことは自治体として進めていかなければならない。上田市の状況も提言に含めて書くのもよいかと思う。

(委員) もう一つ、コロナ禍で学校教育の現場がどういう状況なのか。どの様な問題が起こっているのか、実態はお聞きできないか。

(事務局) 学校の校長が委員におられるので、その委員からお聞きすることが良いのではないかとと思う。学校全体の問題の総体的なところを、次回の検証・振り返りの際に学校の状況として校長先生から説明していただくことで、学校の実態がより認識しやすくなる。

(委員) 次の提言の1つの絞り込まれる事項になるかもしれない。

(委員) 次回、前回の提言の項目ごとの実態を聞きたい。

(事務局) 次回会議で、提言内容の振り返りを行い、課題や提起があれば意見交換をしていく。あまり幅広く捉えるのではなく、この時期に行っていくべきものであるとことの共通認識が必要であるので、振り返りとは別に、委員間で意見交換も必要になってくるのではないかと思う。

(代表) 次回の会議で振り返りの中から、委員で協議していくということと、この時期にどうしてもという課題提起があれば、皆で意見交換してある程度に絞って話し合いをしていきたい。

5 その他 特段なし

6 閉 会